

補聴器販売の最前線とワイデックスを結ぶ ワイデックス HYGGE-ヒュッゲ- 通信

WIDEX®
HIGH DEFINITION HEARING

Vol.1

- **特集** ● **製品・技術ニュース**：新製品や技術的なニュースをご紹介
「カスタムイヤチップへのカナルロックモデル導入」 … P1
- **補聴器フィッティング**：よくあるケースについてワイデックス補聴器のフィッティングのコツをご紹介
「補聴器に届く音の大きさ - ゲイン設定」 … P2～P4
- **すぐに使える集客・販促のヒント**：販促ツールの効果的な使い方や集客のポイントをご紹介
「補聴器選びを気軽にスタート。BEYOND新ツール」 … P5
- **編集後記**「補聴器をつけて、円楽さんに会いに行こう」キャンペーンを終えて … P6

製品・技術ニュース

カスタムイヤチップへのカナルロックモデル導入

カスタムイヤチップやカスタムレシーバーイヤチップは、仕様上、耳道の直線部分を利用して設計、製造をしています。しかし、耳道の曲がりが少ないお客様など、抜けやすいという事例が稀に発生していました。

このたび、CAMISHAのバージョンアップでカスタムイヤチップ、カスタムレシーバーイヤチップにカナルロックモデルを導入しました。



- 〈利点〉
- 耳道からの抜け防止
 - 段差のない一体成型を実現
 - 均一成型により強度アップ
 - 装着感が良い
 - 仕上がりがきれい
 - データから複数製作や修正加工が可能

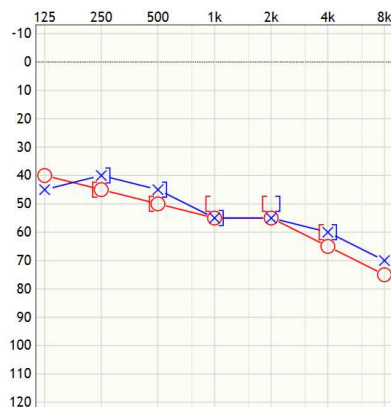
ワイデックスフレックス製作指示書の「製作についてのご要望事項」欄に、「カナルロック仕様」と記入して注文をいただければ製作可能ですので、是非お試しください!!

※注意：お客様の耳の形状により、カナルロックを製作できない場合や、製作しても抜けてくる場合があります。



フィッティング担当者

1ヶ月後のフォローアップの際、お客様から『言葉をもっとよく聞きたい』と言われて、どこを調整すればいいか困っています…



＜お客様の情報＞

- 60代 男性
- 平均聴力レベル 右：53.75dB 左：52.5dB
- 語音明瞭度 右：75%(90dB) 左：85%(90dB)
- 補聴器は初めて装用、毎日10時間使用
- RIC型（チューリップ耳せん）・両耳装用
- 購入理由：聞き返しが多くなった。テレビの音が大きいと家族から指摘されることが多くなった。

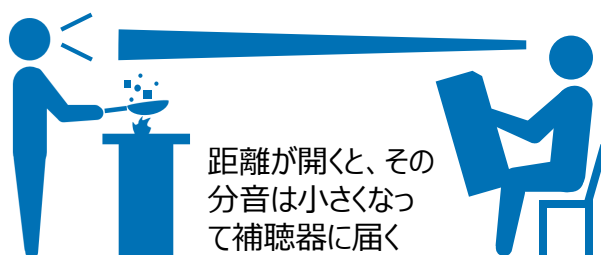
これだけの情報では、お客様が聞きたいとする言葉がよくわかりません。お客様から**もっと具体的な情報**（誰の声か？どこで？いつも？たまに？どんな環境で？等）を聞き出しましょう。

ポイント：「問題の音」を特定することです。

お客様に詳しく伺ったところ、『リビングにいて、キッチンにいる家族から呼びかけられたとき、気づきにくい』とのお答えでした。

では、この情報を元に、補聴器をどのように調整しますか？

まずは、音の大きさから考えてみましょう。屋内でも、少し（5mくらい）離れたところから話しかけられた声の大きさは、小さくなって補聴器に届きます。



ポイント：「補聴器に入る」音として、「音の大きさ」を考えます。

今回のケースでは、小さな音に対する増幅率（ゲイン）を大きくします。

COMPASS GPS → ファインチューニング → ゲイン設定を表示し、**小さな音に対するゲイン**なので、**IGソフト**を調整します。

主訴が「言葉をもっとよく聞き取りたい」ですので、**言葉の聞き取りに重要な中音域の数値を上げます。**

COMPASS GPS – ファインチューニング – ゲイン設定

| 500 | 1k | 2k | 4k | MPO (dB HL) |
|-----|-----|-----|----|----------------------------------|
| 105 | 105 | 103 | 96 | IG ラウド → 大きな音の入力 (約90dB SPL) |
| 7 | 11 | 9 | 8 | IG ノーマル → 日常会話レベルの入力 (約65dB SPL) |
| 14 | 18 | 16 | 17 | IG ソフト → 小さな音の入力 (約40dB SPL) |
| 25 | 28 | 28 | 32 | |

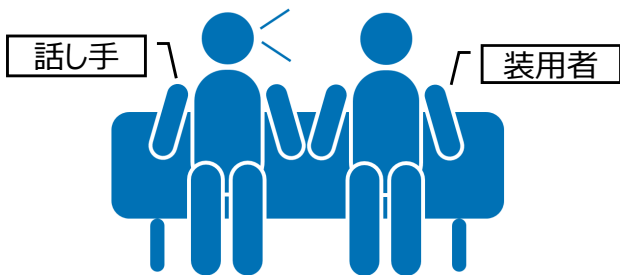
ポイント：言葉の聞き取りに重要なのは、「中音域」です。

IGソフトを全体的に大きくしないのは、遠くの物音や空調の音など、言葉以外の小さな環境音が気になってしまうのを避けるためです。

○ 今回のケースでは、遠くから聞こえる、補聴器には小さく入力される音の問題でした。

次のようなケースでは、どこを調整すればよいでしょうか？

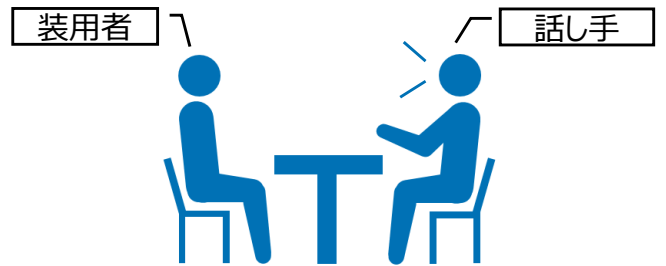
ソファに隣り合って座り、普通の大きさの声で会話する場合



補聴器のすぐ近くで聞こえる音

= 大きな音 → IGラウドの中域

ダイニングテーブルに向かい合って会話する場合



補聴器からある程度 (1mくらい) 離れた音

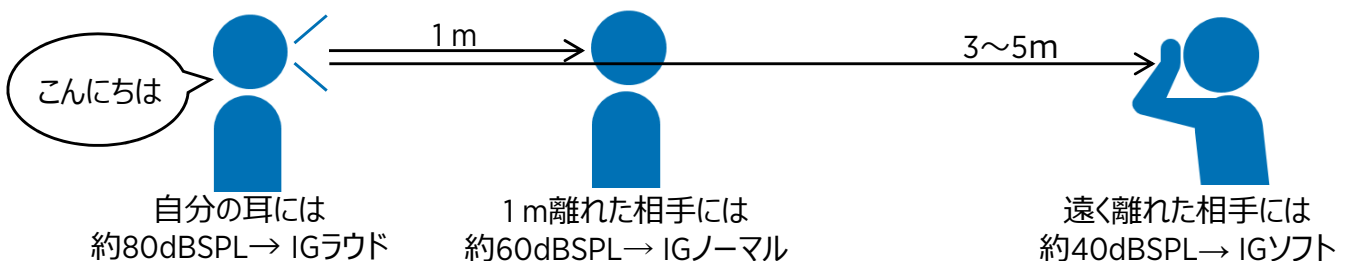
= 日常会話レベル → IGノーマルの中域

音量が十分であっても、ボソボソ不明瞭に話す、または早口で話す方の声は、聞き取りにくいものです。

はっきり、ゆっくり話すよう会話相手にも協力していただきましょう。

参考：音の大きさと距離の関係

距離によって耳に届く音の大きさが変わります。例えば、1m離れた相手に普通の大きさの声で話しかけた場合、相手に約60dB SPLくらいの大きさで届きます。その時、自分の耳には、約80dB SPLと相手よりも大きな音で聞こえています。また、3~5m先の方には、約40dB SPLで届きます。これを踏まえ、お客様との距離を変えて確認することで、どの調整器を動かすか候補を絞る方法もあります。

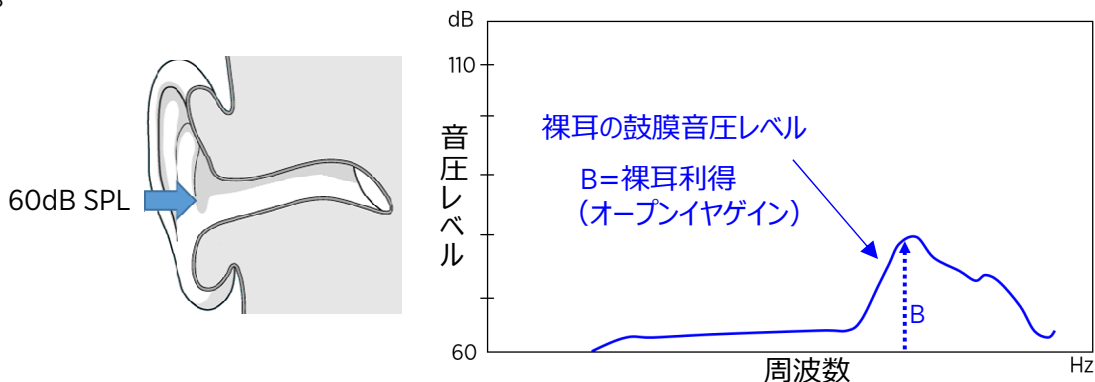


参考：IG（インサージョンゲイン・挿入利得）について

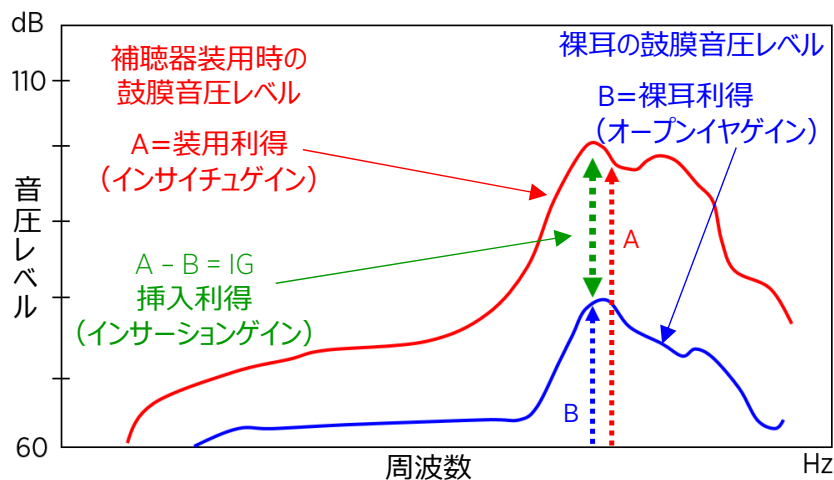
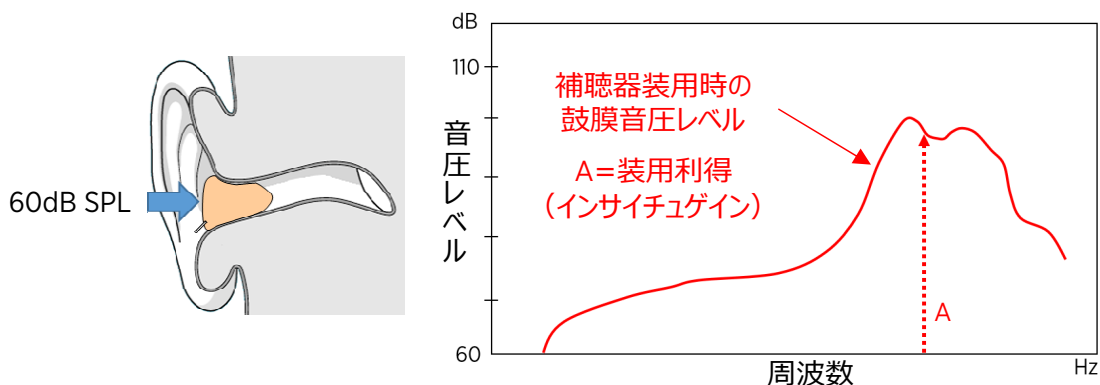
ゲイン設定にある「IG」という表記についてみましょう。

まず、最初に耳の入り口付近に入った音が鼓膜にどのように届いているか、考えてみます。

人体の正面から一定の音圧（例えば、60dB SPL）の音を周波数を変えながら出した時、鼓膜の上で音圧レベルを測定すると、外耳道共鳴により下図のBのようなカーブになります。これを「裸耳利得（オープンイヤゲイン）」と呼んでいます。



次に補聴器を装着した状態で、同じように一定の音を出した時、補聴器で増幅された音は、鼓膜面上で下図のAのようなカーブになります。「装用利得（インサイチュゲイン）」と呼ばれます。



補聴器の有無による鼓膜面上での音圧の差を「挿入利得」や「インサージョンゲイン (IG)」と呼んでいます。言い換えれば、補聴器による実質的な増幅効果です。



では、IGが「0」とはどのような状態でしょう？

→ 補聴器を着けていても、鼓膜に届く音の大きさは、裸耳の状態と同じといえます。

補聴器選びを気軽にスタート。BEYOND新ツール

補聴器選びは難しい？

インターネットで検索されている関連ワードで多いもの

- 「補聴器 価格」や「補聴器 値段」等の価格関連
- 「補聴器 選び方」や「補聴器 おすすめ」等のアドバイス系

補聴器は初めてという人は、価格のことも含めて『自分にはどんな補聴器が合うんだろう？』という疑問を持っているようです。



ライフスタイルで選ぶBEYOND新ツール [あなたは、どのタイプ？]

今回新たに制作したツールは、補聴器は初めてというお客様を特に意識してつくられています。ライフスタイルから選ぶというアプローチで、補聴器選びへの不安な気持ちを解消することを目指しました。

- スタンドタイプの卓上サイズ。接客テーブルや待合でお客様の注意を惹きます。
- 待ち時間などにお客様一人で試すこともできるので緊張をほぐす効果が期待できます。接客時はお客様との会話のきっかけづくりになります。
- 自分のライフスタイルに近いタイプを選ぶだけ。モデルが外国人なので、あまり難しく考えずにゲーム感覚で気軽に試せます。
- お仕着せではなく、自分も補聴器選びに参加したという実感が得られます。

新ツールで補聴器選びをスタート

「私はこのタイプが近いかな？」「これは違うかな？」。お客様は、BEYONDの5人のキャラクターに自分をなぞらえて、最適な補聴器を見つけていきます。このツールを入り口にして、みなさんの知識と経験でお客様に最適な補聴器をご提案ください。



私はこのタイプかな？



「補聴器をつけて、円楽さんに会いに行こう」キャンペーンを終えて・・・

去る12月12日の月曜日、「補聴器をつけて、円楽さんに会いに行こう」キャンペーンの当選景品である『桂歌丸・三遊亭円楽 特選二人会』が横浜にぎわい座で開催されました。

キャンペーンの当選者は、墨田区のワイデックス本社工場を見学した後、歌丸さんと円楽さんの豪華顔合わせをライブで満喫されました。



参加された皆様から「楽しかった。また行きたい」という感想をうかがって、改めてこうした機会の大切さを実感したワイデックススタッフですが、何より驚いたのが、**参加された皆様の元気さとおしゃべり好きなこと**。そして、実際に補聴器をつけて楽しく毎日を過ごされている方のお話の説得力です。何がきっかけで補聴器をつけるようになったのか、補聴器をつけて生活がどんな風変わったか、経験者の語る生の声は、私たちの想像をはるかに超えたパワーを持っていました。何より、体験をお互いに共有し、補聴器の素晴らしさをより多くの人に伝えたいという強い想いをお持ちでした。

一方、補聴器を検討されている方から私たちに寄せられる声で多いのが、「**いい話も悪い話も含めて、実際に使っている人の体験談や感想を知りたい**」というものです。一方通行のメッセージではなく、リアルな“生の情報”を知りたいと思っている方は多いようです。

「知りたい」という気持ちと「伝えたい」という想いー。

この二つを結びつけることができれば、もっとたくさんの人に補聴器の素晴らしさが伝わっていくのではないのでしょうか。

ここでお店で実践していただける企画のご提案です。

補聴器のユーザーさんと、補聴器購入を考えている人が交流するようなイベントを開催してみたいかがでしょう。先輩が、後輩に補聴器の素晴らしさを伝えていく。そんな機会と場所をお店が提供することができれば、補聴器の良さがどんどん広がっていくような気がします。

「HYGGE-ヒュッゲ-」とは？

タイトルの「HYGGE-ヒュッゲ-」は、デンマーク語で「居心地のよさ」や「快適」を意味する言葉です。HYGGE-ヒュッゲ- 通信を通して、販売店の皆様と素晴らしい関係を構築していきたいとの願いを込めて、タイトルにしました。

ワイデックス HYGGE-ヒュッゲ- 通信
に関するお問合せは・・・

フリーダイヤル **00777-81810**